

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	62.5	25	12.5	人員配置、プレイルームの広さなどは十分に確保している
	2	職員の配置数は適切であるか	75	25		職員配置は基本配置と加配加算で必要分は配置されている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	87.5		12.5	車椅子で移動等しやすいように設計されている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	75		25	定期的なミーティングは出来るだけ多くのスタッフに参加できるよう日程を調整している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	62.5		37.5	アンケート調査は年に1度年度末に実施
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	62.5		37.5	事業所ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	25	12.5	62.5	現在は第三者による外部調査は実施していません。今後検討中
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか	100			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	37.5		62.5	標準化されたツールは使用していないが、個別の状況やご家庭の状況に応じたアセスメントを実施
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	62.5	12.5	25	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等ディサービス計画を作成しているか	87.5		12.5	子どもの状況に応じてそれぞれの職員の専門的立場で支援目標を検討しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	50	37.5	12.5	各部署のスタッフが集まってミーティングを実施。部門ごとには活動の様子を見ながら余裕のある時間に適宜実施
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	37.5	37.5	25	毎日の打ち合わせの実施はしていないが、確認事項や検討事項があった場合はできるだけその日のうちにミーティングを実施し、情報を共有するようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100			
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	50		50	ガイドラインに沿って療育を検討しています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	87.5		12.5	基本的には児発管か主任と看護師の2名で参加するようにしています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	37.5	12.5	50	ケア会議の際に情報を共有するようにしています。また必要時は保護者と共に情報共有しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	87.5		12.5	基本的にはケア会議で情報を共有していますが必要に応じて保護者を介してか直接情報共有をしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	37.5		62.5	必要に応じて実施
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	37.5		62.5	感染症流行の時期と重なることも多く積極的な交流は実施で出来ていません
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	62.5	25	12.5	子ども部会への参加をしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	37.5	25	37.5	感染症流行の時期とかさなり計画を実施することが困難なこともあった為、開催の時期を検討し様子を見ながら必要な支援していく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	62.5		37.5	利用開始前に家庭訪問等で説明をしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	87.5		12.5	感染症流行の時期とかさなり計画を実施することが困難なこともあった為、開催の時期を検討し様子を見ながら必要な支援していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100			
	35	個人情報に十分注意しているか	100			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100			利用児とはさまざまなコミュニケーションツールを利用しながら意思疎通を図ることができるよう支援している。保護者とは普段からの声かけや家庭訪問や面談の実施で情報伝達を心がけている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	37.5	37.5	25	感染症流行の時期とかさなり計画を実施することが困難なこともあった為、開催の時期を検討し様子を見ながら必要な支援していく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	87.5	12.5		アレルギーについては書面にて保護者と確認しています。医療機関で検査をしている場合は検査結果の提出をお願いしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100			

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	わから ない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	75		25	人員配置、プレイルームの広さなどは十分に確保している
	2	職員の配置数は適切であるか	100			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	87.5		12.5	車椅子で移動等しやすいように設計されている
	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	50		50	定期的なミーティングは出来るだけ多くのスタッフにが参加できるよう日程を調整している。
業務 改善	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	75		25	保護者アンケート実施後は上がってきたご意見と共に改善のための検討を行っています。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	62.5		37.5	事業所ホームページに結果を公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		12.5	87.5	現在は第三者による外部調査は実施していません。今後検討中
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100			事業所内研修の実施、事業所外での研修会などにも参加している
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100			サービスの計画は多くのスタッフ参加のもと作成するようにしている。保護者の意見や他事業所からの情報も確認しながら作製している
適切 な 支 援 の 提 供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	25	12.5	62.5	標準化されたツールは使用していないが、個別の状況やご家庭の状況に応じたアセスメントを実施
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100			
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	87.5		12.5	出来るだけ子どもたちの発達を見ながら計画を立てています。情報は職員間で共有し必要な支援を検討しています。職員間での情報共有がスムーズに出来るよう今後情報共有方法など検討していきます。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100			
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100			
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	87.5		12.5	
16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	50	37.5	12.5	支援開始前各部署のスタッフが集まってミーティングを実施 各部門ごとには時間を見ながら適宜実施	

	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	50	25	25	終了後の毎日の打ち合わせの実施はしていないが、確認事項や検討事項があった場合はできるだけその日のうちにミーティングを実施し、情報を共有するようにしている。
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100			
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100			
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	50		50	必要に応じて関係機関と連携を取るようにしている。
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	62.5		37.5	必要に応じて関係機関と連携を取るようにしている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	100			主治医による医ケア指示書の作成を依頼している
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	50		50	必要に応じて実施
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	87.5		12.5	現在移行支援が必要な対象児はいませんが、必要時は実施予定
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50	25	25	必要時参加
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	87.5		12.5	コロナ禍以前は実施していたが、コロナ化以降は実施を見合わせている。今後様子を見ながら検討していく
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	100			必要時参加
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100			個別での家庭訪問や面談を実施。保護者とも情報を共有できるよう心掛けている
30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	50	12.5	37.5	コロナ禍以前は保護者向け研修会の実施もあったが、現在見合わせている。様子を見ながら必要な支援を検討していく	
保護	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	50		50	
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	75		25	
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	87.5		12.5	毎月のおたよりの発行

護者への説明責任等	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	75		25	保護者参加のイベントの実施などを行っているが、感染症流行の時期とかさなり計画は立てたが実施することが困難なこともあった。実施の時期を再検討しながら計画を進めた。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100			
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100			
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100			
	38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100			
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	25	25	50	コロナ禍以前は実施していたが、コロナ化以降は実施を見合わせている。今後様子を見ながら検討していく
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100			
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100			
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	87.5		12.5	利用開始前に家庭訪問等により看護師と共に健康状態など確認しています。変化がある場合はその都度確認をしています。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	87.5		12.5	アレルギーについては書面にて保護者と確認しています。医療機関で検査をしている場合は検査結果の提出をお願いしています。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100			
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100				